

◇今後の予定お知らせ◇

平和の鐘を撞く 8月6日午前8時15分 と 8月9日午前11時2分

クラスター爆弾の破片を見せてもらったことがあります。指くらいの長さで、角ばった金属片が豆の実のように連なっていました。空から雨のようにこの破片が回転しながら降ってきて、体に食い込むと、抜き取ることはできないようでした。現代は医療が発達し、いかに命を助けるかということに人類が心を砕いてきた一方で、いかに人体を傷つけるか、ミンチのように肉を切り裂く方法を編み出しているのもまた人間です。

そのような人間の姿を心にとめて、平和を願って一緒に手を合わせ鐘をつきましょう。

広島市から苗木を分けてもらったときには30cmほどだった被ばくアオギリ2世も背丈1mを超えました。経蔵の北側にあります。地面から見上げた様子→



世話人総会 9月10日(日) 14時～

お世話人の皆様、よろしく願いいたします。

境内の掃除 お世話になります。よろしく願いします

8月5日(土) 長岡4 8月お盆後 芳賀
9月 樋ノ口 10月 南町 11月清池

報恩講(おたや)

10月24日(火) おみがき土曜会

10月28日(土) 報恩講(おたや)

今年は以前のようにお齋が再開できたらと思っています。



この暑さで、ハチの巣が発生!

草刈りなどでうっかり、毎年のようにハチに刺されています((+_+))
今年は気候の関係もあるのか、あつというまに大きな巣になっていくことに驚いています。涼しい時間帯にスプレーで対処したりしております。
ハチがお墓に巣を作ることもあります。お参りの際はどうぞお気を付け下さい。
ココナッツの実をぶらさげると、スズメバチが巣をつくりにくいというお話も聞きました。なんとか共存?お互いに近寄らないでいたいものです。

さい つの
犀の角

願行寺広報 No.59



発行日 令和5年(2023年) 8月1日
発行者 真宗大谷派 龍池山 願行寺
〒994-0068 天童市高楯北130 Tel & fax 023-655-3218

“線状降水帯”という言葉は何度も聞いた梅雨のあと、猛暑・猛暑・猛暑の日々となりました。無事にお元気にお過ごしでしょうか。

《ごあんない》

お盆のおつとめ 8月13日(日)・14日(月)

両日とも朝9時・夕6時 読経 (お飾り12日～16日まで)



願正忌 (清池の骨堂 納骨法要) 9月7日(木)

コロナも落ち着いてきましたので、今年は清池で法要を行います。

※骨堂の場所は願行寺ホームページをご覧ください。駐車スペースは10台程度あります。

納骨 受付 9:30～15:00

読経・法話 (およそ30分) は(1)10:00 (2)11:30 (3)14:00

今年は密集を避けるために3回に分けて設定しました。

事前の申し込みは必要ありません。当日お骨と申込み用紙とお志を堂内の受付へお持ちください。また、納骨以外の方もどうぞ清池にお参りください。

(すでにお申し込みいただいている方は申込用紙の記入の必要はありません。)

.....きりとり.....

納骨希望の方は、こちらに記入して当日お持ちください。

願行寺 清池 分納骨申込み用紙

ふりがな		ご命日	
お名前		年	月
		日	
ほうみょう	釈 ・ 釈尼		
法名	どちらかに○を付けてください		
喪主ご氏名		連絡先(電話番号)	
ご住所	〒		

大会合 ご報告 5月1日

村山地域の真宗大谷派の寺院を巡回してひらかれる法話会です。
願行寺が会所になるのは平成4年以来でした。(31年前になります)



当日は村山地域の十数名のお坊様がお集まりになりました。
本堂で4席、経蔵で4席、8名の方にお話しいただきました。



普段は閉じている経蔵を開きました。外の椅子に腰かけて、
青空の下で聴聞される方もおられました。



前日に仏具をおみがきしました。



受付テントを設営。
お天気に恵まれました。



お坊様接待はわらびもちで。
ご門徒のご婦人方にお世話
になりました。



たくさんのお世話人の方々のご協力をいただきました。コロナ5類に移行する
直前の連休でした。戦時や災害、様々な困難な時代をこえてつないできた行事
です。数十年先にもつないでゆきたい、貴重な一日でした。

映画上映会のご報告 映画『一人になる』6月5日

ハンセン病の隔離政策の中、お寺でひっそりと診療を続けた医師・僧侶の小笠原登をめぐる
ドキュメンタリー映画が上映されました。鑑賞の後、グループに分かれ座談会もありました。
これまで山形県の1県でまとまって教区として活動してきた真宗大谷派の宗派ですが、昨年
7月より東北6県が一体の教区となりました。東北教区となって丸一年たちました。
このたび願行寺が教化委員会の映画会の会場となりました。当日は、村山地域を中心に、仙台、
気仙沼・花巻からも、参加してくださいました。ご門徒や寺院関係者など様々で、広域の教区に
なるとはこういうことだったのか、と驚きと感激がありました。



コロナの影響で、広域となってもしば
らくはオンラインばかりでの交流や会
議でしたが、少しずつ集うことが叶うよ
うになりました。
この春から、福島の浪江町や、青森の
弘前市・五所川原市など、各地に研修で
足を運ぶ機会がありました。
まだまだ知らない東北を交流しなが
ら訪ねていきたいです。(坊守)

前住職七回忌と夏の小さな音楽会 7月9日

午前中に親戚寺院および総代・役員の方々とお勤めをしました。
午後からは音楽会。近隣の方々もお声がけし、堂内に響く楽曲を皆で楽しみました。



テノール歌手の高橋實先生
(羽陽学園短期大学)

小柄の体からびっくりするほど大きく響く
歌声が！！一曲目からひきこまれました。



住職は増川大輔先生と「荒城の月」を演奏。
ピアノの須藤恵美子先生によるすばらしい編曲でした。